



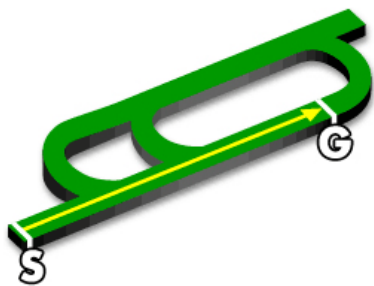
「新潟競馬場徹底攻略ガイド」

presented by KAZ@競馬はビジネスである



新潟芝1000m

唯一無二の特殊舞台、圧倒的に外枠有利で癖を見抜けばドル箱コース



日本では新潟競馬場にしか存在しない直線1000mの特殊舞台。馬場の外側部分はこの舞台を除けば使われる事は稀ですし、馬場の内側は全芝レースで踏み荒らされていることもあって圧倒的に外枠有利。もうこれはどの競馬ファンも知っていることですが、それでもなお外枠有利と覚えておくといい。

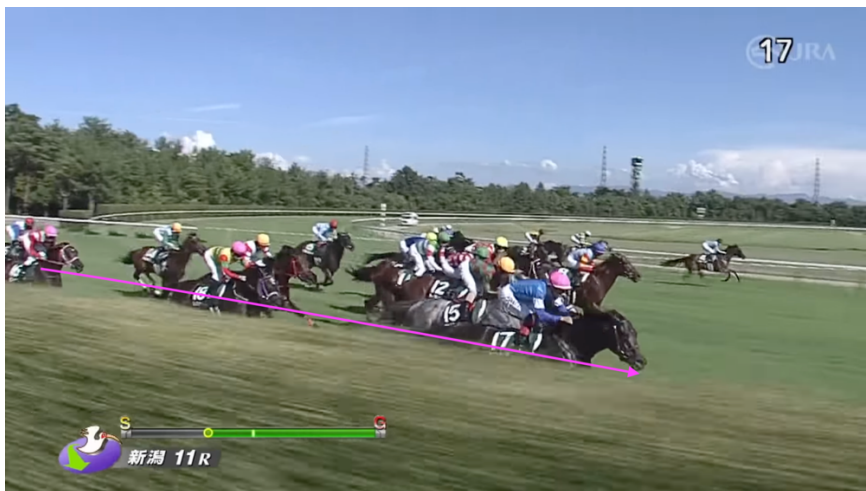
枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	0- 2- 2- 97/101	0.0%	2.0%	4.0%	0	95
2枠	3- 3- 1- 99/106	2.8%	5.7%	6.6%	50	22
3枠	3- 3- 6- 94/106	2.8%	5.7%	11.3%	75	77
4枠	4- 7- 2- 95/108	3.7%	10.2%	12.0%	26	32
5枠	6- 3- 2- 99/110	5.5%	8.2%	10.0%	33	30
6枠	7- 5- 10- 87/109	6.4%	11.0%	20.2%	62	97
7枠	10- 15- 21- 87/133	7.5%	18.8%	34.6%	46	110
8枠	22- 17- 11- 85/135	16.3%	28.9%	37.0%	93	93

※新潟芝1000mの枠順別成績(2020年1月~)

データに出してみても外枠有利の傾向は明らか。これでもなお1枠や2枠の馬を買いたいという方がいればどうぞご自由にと感じます。



2021年のアイビスサマーダッシュで1枠のバカラクイーンが内ラチを通る奇策で3着に激走。その影響から内ラチを狙う戦法が増えてきているが、これが通用するのは絶好馬場の開幕週ぐらい。2週目からは基本的に無理と見ていいと思います。



この条件が外枠有利というのは誰もが知っていることですが、厳密に言うと外枠有利ではなく「外ラチ沿い有利」ということを理解しているかが非常に重要。外側の方が馬場の良い部分を通れると言うのもありますが、それ以上にラチを頼ってまっすぐ走れるかがこのレースでは重要。そのためにスッと外ラチ部分を取れてまっすぐ走れる馬（上記画像で矢印で示した馬）の好走率が非常に高くなります。

あんまり内枠～中枠にテンのダッシュ力がある馬が少ない場合は外枠を引いてラチ沿い先頭の競馬ができる馬が圧倒的に有利。一方で内枠～中枠から競りかけてくる馬がいる場合は目標にされるラチ沿い先頭の馬は苦しくなることも多く、その場合はラチ沿い2、3番手の馬がスルスルと伸びて好走することが多いです。まあいずれにしてもラチ沿いを通れる馬が圧倒的に有利な条件です。

外枠が圧倒的に有利な条件ですが、いくら外枠でも本質的にスピード不足の馬ではさすがに走れない舞台。やはり中央競馬で最短距離の電撃レースということで絶対的なスピード性能は必要で、このレースは父サンデーサイレンス系よりも非サンデーサイレンス系のスピード血統が圧倒的に有利。ストームキャットやヴァイスリジェントなどの米国ノーザンダンサー系の活躍が非常に目立っており、メジャー種牡馬の中ではロードカナロア産駒の活躍が目立ちます。

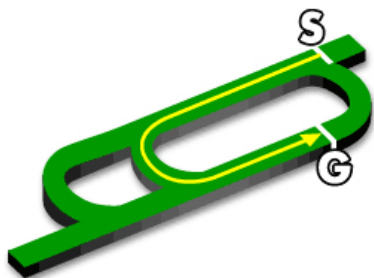
騎手で言えばこの舞台で近年活躍が目立つのが津村騎手と鮫島克駿騎手。どちらの騎手も変に早仕掛けせずに追い出すタイミングを完璧にわきまえている感じで、この舞台では少し内の枠を引いても騎手の力で持ってくる怖さがあります。一方でスタートが下手なデムーロ騎手はこの舞台を苦手にしており、テンでもたついでリズムに乗れずに人気馬でも凡走というパターンが目立ちます。

<まとめ>

- 外枠が圧倒的に有利な条件
- 外枠の馬の中でも外ラチ沿いを通れる馬が圧倒的に有利
- 父サンデー系よりも非サンデー系の好走が目立つ
- 米国ノーザンダンサー系やロードカナロア産駒の好走が目立つ
- 津村騎手と鮫島克駿騎手はこのコースを非常に得意にしている
- スタート下手なデムーロ騎手はあまりこのコースは得意ではない

新潟芝1200m

平坦スピード条件で下級条件では圧倒的に先行有利



左回りコースで直線平坦の芝1200m。序盤から勢いに乗りやすくペース自体は速くなるが、コーナー角度が急で直線も平坦になるのでなかなか前が止まらない条件。よってこのコースは逃げ先行馬が圧倒的に有利なレース傾向。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	19- 5- 2- 28/ 54	35.2%	44.4%	48.1%	295	157
平地・先行	22- 19- 16-150/207	10.6%	19.8%	27.5%	168	114
平地・中団	11- 24- 24-271/330	3.3%	10.6%	17.9%	20	75
平地・後方	3- 6- 11-245/265	1.1%	3.4%	7.5%	8	51
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※新潟芝1200mの脚質別成績(2020年1月～)

こうして見ても逃げ馬の成績が圧倒的で、次いで先行タイプの活躍が目立つ。新馬戦、未勝利、1勝クラスまでは逃げ馬の成績が圧倒的になっているが、2勝クラスよりも上になると速い馬が多くなるために逃げ馬の成績が落ちる。これは芝ダートの違いこそあれほぼ同じコース形態の新潟ダート1200mと同じ傾向になる。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	17-	5-	2-	3-	2-	12/	41(41.5%/ 53.7%/ 58.5%)	350円 / 197円

※新馬戦、未勝利戦、1勝クラスで逃げた馬の成績(2020年1月～)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	2-	0-	0-	3-	1-	7/	13(15.4%/ 15.4%/ 15.4%)	124円 / 28円

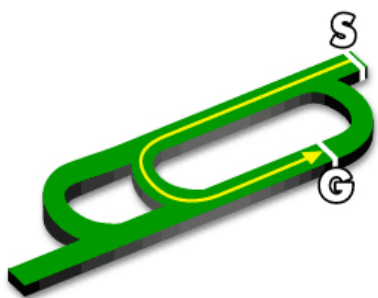
※2勝クラス、3勝クラス、オープンで逃げた馬の成績(2020年1月～)

<まとめ>

□ 逃げ馬、先行馬が圧倒的に有利な条件(特に新馬、未勝利、1勝クラス)

新潟芝1400m

1200mから1ハロン伸びることでゴール前の強襲が可能に



1200mから1ハロン伸びただけではあるが、その分で1コーナーまでの距離が長くなって隊列が落ち着くまでに時間がかかる。全JRA競馬場の1400mで言える事だが、その分で1200mよりも差しが決まってただの前残りレースにはなりにくい。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	6- 9- 4- 35/ 54	11.1%	27.8%	35.2%	101	149
平地・先行	14- 18- 16-160/208	6.7%	15.4%	23.1%	74	67
平地・中団	32- 22- 30-284/368	8.7%	14.7%	22.8%	158	90
平地・後方	3- 4- 4-245/256	1.2%	2.7%	4.3%	8	38
平地・マクリ	0- 0- 0- 0/ 0					

※新潟芝1400mの脚質別成績(2020年1月～)

芝1200mでは5割近かった逃げ馬の複勝率は35%。先行馬と差し馬の期待値もだいたい同じくらいですし、200m距離が伸びただけでも1200mとはだいぶ傾向が変わってくる。

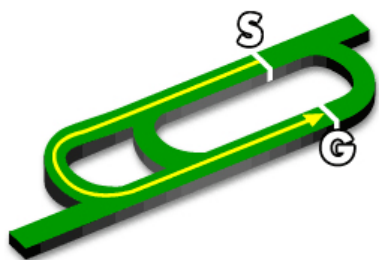
スプリント戦に近いスピードが問われながらも、ただスピードを活かすだけでは止まってしまうので騎手の仕掛けどころもポイントになる舞台。スピードタイプの馬をふわっと乗って末脚を伸ばせる福永騎手の成績が非常に良いコースで、過去2年で実に複勝率は6割近くになります。福永騎手や同じくふわっと乗って末脚を伸ばせるタイプの騎手を買うべきコースでしょう。

<まとめ>

- 1200mから1ハロン伸びただけで差しも十分に決まるレースに
- 仕掛けどころがポイントになるレースで福永騎手の成績が圧倒的

新潟芝1600m

4～5ハロン目が緩んで直線での末脚勝負になりやすい



新潟名物の長い直線で行われるマイル戦。スタートから1コーナーまでの距離も長く、最後の直線の距離も長いためにハイペースになることは少ない舞台で、大体はコーナー部分の4～5ハロン目のラップが緩みます。中盤部分で負荷がそこまでかからないラップ構成になって直線で爆発的な末脚を使える馬が好走できるコースでしょう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	7- 9- 9- 51/ 76	9.2%	21.1%	32.9%	162	156
平地・先行	33- 27- 17- 207/ 284	11.6%	21.1%	27.1%	97	89
平地・中団	30- 34- 44- 370/ 478	6.3%	13.4%	22.6%	38	75
平地・後方	6- 6- 6- 333/ 351	1.7%	3.4%	5.1%	7	21
平地・マクリ	0- 0- 0- 0/ 0					
3F 1位	32- 18- 8- 32/ 90	35.6%	55.6%	64.4%	164	174
3F 2位	14- 9- 20- 37/ 80	17.5%	28.8%	53.8%	238	245
3F 3位	7- 17- 11- 49/ 84	8.3%	28.6%	41.7%	37	145
3F ~5位	11- 20- 18- 112/ 161	6.8%	19.3%	30.4%	64	98
3F 6位~	12- 12- 19- 731/ 774	1.6%	3.1%	5.6%	17	22

※新潟芝1600mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

こうして見ても上がり3ハロンで1位の末脚を使った馬の複勝率は6割超え。上がり2位を使った馬でも複勝率53%になっていますし、とにかくズバツと速い上がりを使える馬が有利なコースです。ただ、前走で速い上がりを使った馬がそのままここでも速い上がりを使っているわけではなく、ただ闇雲に前走上がりが速い馬を買っていてもダメなレースと言えるか。

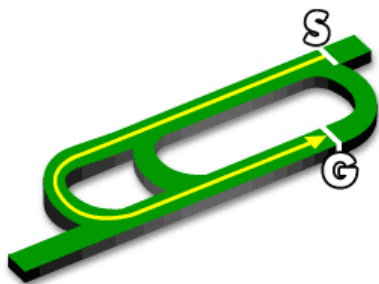
意外に逃げ馬の複勝率が33%もあり、外回りコースでオッズ的にも舐められる事が多いので単複ともに回収率は100%超え。マイペースで逃げられそうな馬がいる場合には外回りコースでも逃げ馬を狙うのはアリだろう。あんまり新潟コースが得意なイメージのない川田騎手だがこの条件だけ複勝率7割で得意としている。

<まとめ>

- とにかく速い上がりを使えた馬が上位に走りやすい
- オッズ的に舐められやすい逃げ馬は意外に期待値が高い
- 川田騎手は複勝率7割超えで新潟で唯一得意にしている舞台

新潟芝1800m

中盤ラップ緩んで瞬発力勝負になりやすく、とにかく速い上がりが重要



新潟名物の長い直線で行われる1800戦。距離が伸びる分でマイル戦よりもゆったりと流れて中盤ラップが緩みやすく、最後はとにかく速い上がりが使えるかが重要になる舞台。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	9- 13- 5- 59/ 86	10.5%	25.6%	31.4%	298	156
平地・先行	37- 20- 31- 215/ 303	12.2%	18.8%	29.0%	93	87
平地・中団	28- 37- 37- 347/ 449	6.2%	14.5%	22.7%	39	79
平地・後方	12- 16- 14- 306/ 348	3.4%	8.0%	12.1%	25	36
平地・マ刈	0- 0- 0- 0/ 0					
3F 1位	44- 26- 11- 27/ 108	40.7%	64.8%	75.0%	281	190
3F 2位	14- 23- 19- 38/ 94	14.9%	39.4%	59.6%	133	179
3F 3位	8- 14- 18- 50/ 90	8.9%	24.4%	44.4%	62	128
3F ~5位	13- 12- 22- 122/ 169	7.7%	14.8%	27.8%	120	127
3F 6位~	7- 11- 17- 689/ 724	1.0%	2.5%	4.8%	15	24

※新潟芝1800mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

前走脚質	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	2- 4- 3- 37/ 46	4.3%	13.0%	19.6%	54	67
平地・先行	24- 24- 18-177/243	9.9%	19.8%	27.2%	99	76
平地・中団	30- 30- 33-292/385	7.8%	15.6%	24.2%	54	86
平地・後方	15- 14- 17-251/297	5.1%	9.8%	15.5%	45	56
平地・マ刈	1- 0- 2- 6/ 9	11.1%	11.1%	33.3%	14	300
3F 1位	15- 11- 15- 56/ 97	15.5%	26.8%	42.3%	56	72
3F 2位	8- 9- 7- 50/ 74	10.8%	23.0%	32.4%	59	81
3F 3位	10- 4- 4- 56/ 74	13.5%	18.9%	24.3%	107	51
3F ~5位	15- 12- 11-101/139	10.8%	19.4%	27.3%	99	96
3F 6位~	24- 36- 36-483/579	4.1%	10.4%	16.6%	51	76

※新潟芝1800mの前走脚質別&前走上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

マイル戦以上に速い上がりを繰り出した馬の成績が良く、この舞台は単純に前走上がりが速い馬の成績も優秀。逃げ馬はオッズ的に舐められる事が多いので、マイル戦同様に期待値は高くなっています。

騎手でいうと福永騎手は2020年から複勝率6割超えで圧巻の成績。ただ、それでも新潟芝2000mの成績が凄すぎてこちらはそこまで凄く見えないのですが・・・

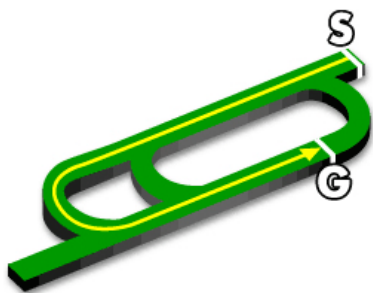
血統ではドゥラメンテ産駒は複勝率46%で優秀な成績。アイコンテラーのような完全な新潟巧者もいますし、この血統は新潟芝1800mへの適性が高そうです。

<まとめ>

- とにかく速い上がりを使えた馬が上位に走りやすい
- オッズ的に舐められやすい逃げ馬は意外に期待値が高い
- 福永騎手は複勝率6割超えで得意としている舞台
- ドゥラメンテ産駒は複勝率46%で優秀な成績

新潟芝2000m (外回り)

中盤ラップ緩んで瞬発力勝負になりやすく、新潟でも最も上がり勝負になる



新潟名物の長い直線で行われる2000戦。外回りコース条件の中では最長距離ということで、最も前半～中盤ラップが緩みやすく、とにかく上がりの速さが重要になるレース。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	3- 4- 5- 27/ 39	7.7%	17.9%	30.8%	79	72
平地・先行	15- 15- 9- 92/131	11.5%	22.9%	29.8%	62	63
平地・中団	14- 14- 18-133/179	7.8%	15.6%	25.7%	54	59
平地・後方	7- 6- 7-108/128	5.5%	10.2%	15.6%	63	40
平地・マ刈	0- 0- 0- 0/ 0					
3F 1位	20- 11- 8- 6/ 45	44.4%	68.9%	86.7%	362	201
3F 2位	11- 11- 3- 17/ 42	26.2%	52.4%	59.5%	115	117
3F 3位	5- 3- 12- 20/ 40	12.5%	20.0%	50.0%	137	118
3F ~5位	3- 8- 10- 61/ 82	3.7%	13.4%	25.6%	30	60
3F 6位~	0- 6- 6-256/268	0.0%	2.2%	4.5%	0	12

※新潟芝2000mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

前走脚質	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	2- 2- 3- 27/ 34	5.9%	11.8%	20.6%	130	54
平地・先行	15- 17- 13- 68/113	13.3%	28.3%	39.8%	89	85
平地・中団	12- 14- 16-137/179	6.7%	14.5%	23.5%	36	59
平地・後方	9- 5- 6-120/140	6.4%	10.0%	14.3%	54	29
平地・マ刈	1- 1- 1- 5/ 8	12.5%	25.0%	37.5%	61	81
3F 1位	9- 7- 4- 26/ 46	19.6%	34.8%	43.5%	87	74
3F 2位	5- 8- 10- 35/ 58	8.6%	22.4%	39.7%	46	69
3F 3位	6- 3- 6- 30/ 45	13.3%	20.0%	33.3%	128	95
3F ~5位	10- 11- 4- 65/ 90	11.1%	23.3%	27.8%	46	53
3F 6位~	9- 10- 15-190/224	4.0%	8.5%	15.2%	55	46

※新潟芝2000mの前走脚質別&前走上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

新潟コースの中でも最も上がり勝負に特化した条件で、上がり1位を記録した馬の複勝率は86%。上がり2位でも59%、上がり3位でも50%の複勝率がありますし、とにかくこの舞台は速い上がりを出せなければ完全に無理なコースと言っている。それだけ前走で速い上がりを使っているかも重要になるレースで、前走で上がり3ハロンで3位以内を記録している馬の成績はなかなか優秀です。

ここまで上がり上位の馬の成績が凄まじい事になっていけば、その分で逃げ馬の期待値は落ちて当然。新潟芝1600m や芝1800m と比較すると明らかに芝2000m では逃げ馬の回収率が落ちていきますし、それだけ能力があって人気の逃げ馬しか走っていないでしょう。

速い上がりが出せる素質馬にいつも乗っているということはありませんが、この舞台で福永騎手は2020年から複勝率100%と凄まじい成績。(3-3-4-0)の成績は並大抵のものではないはずで、おそらく福永騎手は新潟芝2000mでの末脚の引き出し方を完璧に心得ている可能性が高い。また、若手の亀田騎手もこの条件は複勝率64%と相性が良く、福永騎手との馬質の差を考えても大健闘だろう。

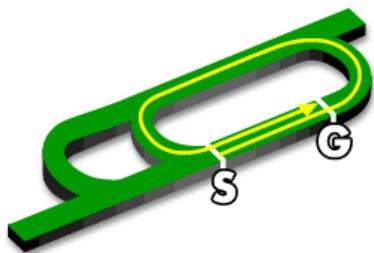
血統で言えばこの舞台はキズナ産駒が圧巻の成績を収めている感じ。2020年からの複勝率は52%になりますし、もうキズナ産駒が出ていたら2回に1回は馬券になると考えて良さそうだ。

<まとめ>

- とにかく速い上がりを使えた馬が上位に走りやすい
- 福永騎手は2020年から複勝率100%
- 若手の亀田騎手もこの舞台は得意にしている
- キズナ産駒がとにかくよく走る舞台

新潟芝2000m（内回り）

ペース流れて持続力差し勝負に、コーナーでの立ち回りが重要



新馬戦と未勝利戦だけ行われる内回りの芝2000m戦。1コーナーまでの距離が長く、最後の直線が短い意識もあってか序盤からペースが流れて持続力勝負になる事が多いコース。新潟内回りコースはコーナー角度が急なので、なかなか外をぶん回しての差しでは厳しく、勝負所でスムーズに立ち回れるかの騎手の技量が非常に重要。イメージとしては南関競馬の小回り1600m—1700mのような勝負所での立ち回り勝負になりやすいです。

平坦小回りの2000mでこちらが思っているイメージよりは差しが決まっている傾向で、上がり1位を使った馬の成績は複勝率70%。とは言っても内回りコースなのでキレイの瞬発力を活かして、と言うわけではなく、コーナーでの立ち回りの上手さを含めて総合力で上がり3ハロンを速く走った馬が有利なレースという感じか。

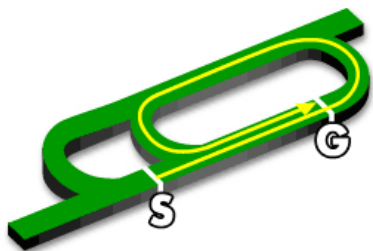
2歳戦でも早い時期から行われる条件だが、2歳の早い時期は2000mの距離はかなり過酷で、なおかつ他の競馬場よりもペースが速くなりやすいのでオーバーペースのスタミナ比べになる事が多い。他の競馬場でキレイ負けていてスタミナを活かせなかった馬がこの舞台で一変する事が多いので要注意。

<まとめ>

- 序盤からペースが流れて持続力勝負になりやすい
- こちらが思っている以上に差しは決まって上がり1位の成績も優秀
- 2歳戦では他場のレースよりもスタミナが問われるのでスタミナ型の穴が好走

新潟芝2200m

ペース流れて持続力差し勝負に、非根幹条件への適性が重要になる



スタート地点から1コーナーまでの距離が長く、序盤のペースが速くなるのが特徴。そこから1～2コーナーで一旦ラップは落ち着くが、小回りコースということもあって仕掛けどころも早くなって淡々と流れての持続力勝負に。右回りや左回り、平坦や急坂の違いこそあっても阪神芝2200mと求められる適性は近い。非根幹距離条件への適性が重要になる舞台だろう。

平坦小回りの2000mでこちらが思っているイメージよりは差しが決まっている傾向で、上がり1位を使った馬の成績は複勝率70%。とは言っても内回りコースなのでキレキレの瞬発力を活かして、と言うわけではなく、コーナーでの立ち回りの上手さを含めて総合力で上がり3ハロンを速く走った馬が有利なレースという感じか。外回りコースではキレ負けするような持続力タイプが非根幹条件適性を活かして走りやすい舞台です。

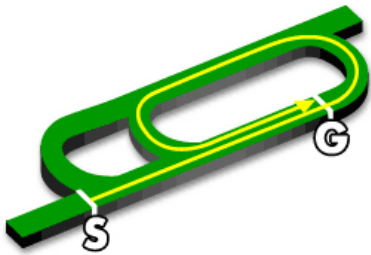
仕掛けどころが重要なレースということもあって、福永騎手は複勝率7割超えと非常に優秀な成績。この条件でもなかなか逆らいつらいです。

<まとめ>

- 序盤からペースが流れて持続力勝負になりやすい
- こちらが思っている以上に差しは決まって上がり1位の成績も優秀
- 非根幹条件への適性が高い馬が走りやすい
- 仕掛けどころが重要なので福永騎手は複勝率7割超えで優秀な成績

新潟芝2400m

ペースはそこまで流れず中弛みからのロングスパート戦になる



あまり行われなマイナー条件。1コーナーまでの距離がかなり長いので2200m戦ほどテンが速くなりにくく、中盤で一旦ペースが緩んでから2400mらしくロングスパート勝負になりやすい。内回りコースが使われる新潟の中長距離戦の中では最も息が入るラップ構成になる舞台で、追走スピードよりも長く脚が使えるロンスパ性能が問われるコースか。

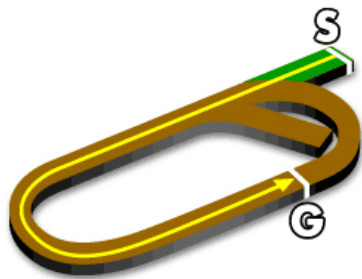
もちろんコーナー半径が小さいので立ち回りセンスも重要になるが、最後まで伸び続けられる2400m巧者らしい馬が好走できる舞台だと思います。

<まとめ>

- ペースはそこまで流れず中盤が緩んでからのロンスパ戦になる
- 追走スピードよりも長く脚が使えるロンスパ性能が問われる

新潟ダート1200m

ハイペースでも前が止まらないアメリカンな電撃スプリント戦



左回りコースで直線が平坦なダート1200mはJRAでも新潟コースのみ。芝スタートでテンからダッシュがつけやすいのでまず間違いなくハイペースになりますが、それでもコーナーが急で直線が平坦なので前の馬が止まらずにそのままなだれ込む事が非常に多い舞台。さすがに上級条件になると前半3F=32秒台ぐらいまで速くなって差しが決まることもあるが、下級条件では圧倒的に先行馬有利。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	44-	21-	17-	4-	4-	59/	149(29.5%/43.6%/55.0%)	413円 / 188円

※新馬戦、未勝利戦、1勝クラスで逃げた馬の成績(2020年1月~)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	3-	2-	4-	2-	1-	14/	26(11.5%/19.2%/34.6%)	51円 / 118円

※2勝クラス、3勝クラス、オープンで逃げた馬の成績(2020年1月~)

基本的に全クラスで逃げた馬の複勝回収率は100%を超えるのですが、先に書いた通りで上級クラスになるほど速い馬が増えて差し馬の台頭は目立つ傾向。逃げ馬が圧倒的に有利なのは1勝クラスまでで、2勝クラス以上になると成績が落ちるのは覚えておきたい。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	151-	136-	112-	81-	71-	411/	962(15.7%/29.8%/41.5%)	153円 / 122円

※全クラスにおいて4コーナーで5番手以内だった馬の成績(2020年1月~)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	24-	40-	63-	95-	103-	1251/	1576(1.5%/4.1%/8.1%)	15円 / 44円

※全クラスにおいて4コーナーで6番手以下だった馬の成績(2020年1月~)

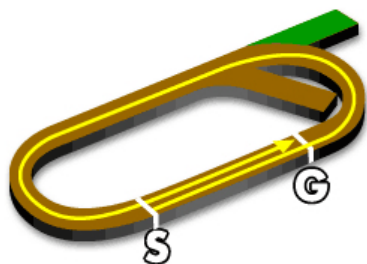
逃げ馬以外でもこの舞台は前に行ける馬の成績が圧倒的に優勢。4コーナーで5番手以内か6番手以下かでこれほどまで差が出ましたし、上級条件でハイペース濃厚のレースでなければ差しタイプを狙うのは絶望的。

<まとめ>

□ 逃げ馬、先行馬が圧倒的に有利な条件(特に新馬、未勝利、1勝クラス)

新潟ダート1800m

先行力と持続力に特化したアメリカンなダート中距離戦



左回りで直線平坦で整備されたコースというのはダートの本場アメリカの競馬場とそっくりな作りで、実際に日本の競馬場の中では最もアメリカンな適性が問われるコース。アメリカ競馬というテンの先行争いから凄まじく早いペースになって、そのまま緩むことなくバテ比への消耗戦になる傾向。この新潟ダート1800mもそれと同じイメージで、ハイペースになっても前が止まらずでバテない先行馬が粘り込む事が多い舞台です。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	43-	28-	27-	21-	15-	107/	241(17.8%/29.5%/40.7%)	217円 / 129円

※全クラスにおいて逃げ馬の成績(2020年1月~)

そんな前有利の舞台ということもあって、新潟ダート1800mは逃げ馬の成績が非常に優秀。しかも1200mと違って上級戦になっても逃げ馬の成績は落ちないので、全てのクラスで逃げ馬の成績が優秀になっています。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	5-	5-	3-	5-	2-	13/	33(15.2%/30.3%/39.4%)	219円 / 218円

※全クラスにおいて4コーナーで5番手以内だった馬の成績(2020年1月~)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	1-	1-	4-	1-	4-	51/	62(1.6%/3.2%/9.7%)	37円 / 50円

※全クラスにおいて4コーナーで6番手以下だった馬の成績(2020年1月~)

逃げ馬の成績が優秀となるとそれ以外の先行馬の成績も当然優秀。全てのクラスにおいて4コーナーで5番手以内にいた馬が圧倒的に優勢となっています。

そんな先行有利なアメリカンなダート戦だけに米国生産馬やアメリカ血統の馬が走る事が多い舞台。特にそういうバイアスが発生した時は注意したい。

<まとめ>

- 逃げ馬、先行馬が圧倒的に有利な条件
- 米国生産馬やアメリカ血統の馬が走る事が多い